

都議会自民党 活動レポート

発行：東京都議会議員 増山あすか事務所
〒183-0023
府中市宮町2-1-15府中パークホームズ2F
TEL.042-366-0066 / FAX 042-358-6062



ますやま

東京都議会議員
(府中市選出)

増山あすか

都議会でのしごと：都議会自民党 政調会副会長／総務委員会 委員 ほか

令和7年も
都政改革
を推進!!

増山あすか プロフィール

1977年12月生まれ／国際基督教大学高等学校（ICU）卒業／中央大学 法学部 法律学科 卒業／大学卒業後、民間企業で法務関連の仕事に従事／2015年 府中市議会議員 初当選（3期連続）／2024年 7月 東京都議会議員補欠選挙 初当選。

府中から東京の明日を切り拓く！

増山あすか都議 都議会第4回定例会 一般質問特集



増山あすか都議は、令和6年都議会第4回定例会で一般質問に立ち、女性の健康づくり、都立がん検診センターの多摩総合医療センターへの再整備、認知症対策、学童クラブの充実、持続可能な東京農業の推進、府中市内の都市計画道路・下水道の整備など、東京・府中の重要課題を都に質問しました。



質疑の模様を抜粋・要約して特集します。



小池都知事に都政改革の推進を強力に要請しました



増山あすか都議の
一般質問・録画映像は
こちらをご覧ください➡



安全・安心な 東京・府中のまちづくりに全力!!

Q

京王線東府中駅付近の鉄道立体交差化を！

増山 交通渋滞や地域の分断など、踏切対策は鉄道立体化が根本的な改善策。事故が発生した東府中2号踏切を含め、府中駅以東の立体化について見解を伺う。

A. 東京都技監答弁 鉄道立体化の検討には、まずは地元市のまちづくりへの取組みが必要。都としては、将来的な動向等も踏まえ適切に対応していく。



現場を視察

Q

多摩地域の災害対応力強化を！

増山 山岳事故、土砂災害など、多様な地形を擁する多摩地域の災害では、効率的な消防部隊の運用が求められる。多摩地区の災害対応力強化への消防庁の見解を伺う。

A. 消防総監答弁 専門部隊を配置している他、多摩東部直下地震や富士山噴火等に備え、司令塔機能を強化した。今後も消防活動体制を強化していく。



吉田消防総監

Q

都は早急な都市計画道路整備を！

増山 府中3・4・16号線、小金井3・4・11号線について、府中市域は整備を進めているが、小金井市域（東八道路から連雀通り）が未着手となっている。計画通り進めるべきだが、都の事業化への取り組み状況を伺う。

A. 建設局長答弁 12月、最適な整備案をオープンハウスで多くの方と意見交換した。意見は今後公表する。引き続き事業化へ向け着実に取り組む。

Q

府中市民の理解を得られる下水道計画を！

増山 野川処理区への水再生センター計画が廃止され、既設センターを増強する府中市では、新たな他市下水受入れへの市民の理解が不可欠。野川処理区の新下水道計画について伺う。

A. 下水道局長答弁 新たにポンプ施設を整備すると共に、北多摩一号水再生センター（小柳町）の水処理施設を増強する。地元市の意向を十分に把握し、地域の理解を得られるよう調整する。



都議会自民党を代表して一般質問に立ちました！

増山あすか都議 都議会第4回定例会 一般質問特集

増山あすか都議の
一般質問全文は
こちらQRから

Q

女性活躍へ健康づくりの推進を！

増山 女性は生涯を通じて女性ホルモンの影響を受け、年代ごとにデリケートな健康課題があるが、相談できずに悩み、適切なタイミングでの治療につながっていない現状がある。

家庭でも仕事でも、女性が活躍するためには心身ともに健康であることが大前提である。そこで、女性の健康づくりへの取り組みについて知事の見解を伺う。

A. 小池都知事答弁 新たに「女性の健康」を重点分野に位置づけ、女性特有の病気等に関する正しい知識などを分かりやすく発信。今後、情報発信を充実し、健康づくりの後押しをし、女性が輝く社会の実現を目指していく。



Q

多摩地域のがん医療の更なる充実を！

増山 最新の統計では、男女共に2人に1人ががんと診断され、男性は4人に1人、女性は6人に1人ががんで死亡するとの結果が出ている。そのような中、都立がん検診センターは、多摩総合医療センター「東館」として再整備を進め、令和7年4月にオープンする。今後、多摩地域のがん医療充実へ一層の貢献を果たしていくべきと考えるが、都の見解を伺う。

A. 保健医療局長答弁 東館では、内視鏡による診断・治療体制の拡充、半導体PET-CTの導入など、早期発見から治療まで「切れ目のないがん医療」を充実する。今後とも、他の医療機関等と連携し、多摩地域の医療水準の向上に貢献していく。

東京都立がん検診センターは、精密検査部門や早期治療に機能を重点化し、東京都立多摩総合医療センターに統合。がん検診センターは2月末に閉所、新たに多摩総合医療センター別館として「東館」を整備し、4月21日から診療を開始。



Q

認知症新薬販売を機に医療計画の充実を！

増山 認知症新薬として、レカネマブに続きドナネマブの販売が開始された。都の認知症疾患医療センターには新薬の治療に関わる医療連携の中心的な役割が期待されており、体制を充実すべきではないか。



A. 福祉局長答弁 今後、身近な地域で適切に抗体医薬治療が提供されるよう、関係者のネットワーク構築を一層推進し、認知症疾患医療センターが、地域の連携拠点としての役割を果たせるよう取組んでいく。

Q

金融リテラシー教育の推進を！



増山 SNSを悪用した投資詐欺も増えており、リスクを避けるためにも、都は、20、30代や中高年など、世代に応じた金融リテラシー教育を推進すべき。見解を伺う。

A. スタートアップ・国際金融都市戦略室長答弁 昨年度から、子供、従業員、高齢者向けの講座等を実施。今後は中高年層向けにも展開していく。

Q

子供の成長の糧となる体験活動の充実を！

増山 伝統文化の継承にも繋がる地域の祭りや、スポーツ・音楽の習い事など、子供達が経済状況に左右されずに参加できるよう、体験活動の充実を図るべきではないか。



A. 子供政策連携室長答弁 区市町村と意見交換しながら、多様な主体と協働した仕組みを検討する。社会全体で体験活動の質、量を充実させる。

Q

持続可能な東京農業を実現する取組みを！

増山 東京農業の発展には、化学肥料や農薬の削減など環境に配慮した農業を推進し、付加価値を高めることが重要。都は、持続可能な東京農業へ向けた取組み強化を。



A. 産業労働局長答弁 税優遇等を受けられる認定制度をエコ農産物認証等を要件に12月開始。今後も支援充実を検討、環境に配慮した農業を進める。

Q

学校施設を活用し学童待機児童の解消を！

増山 高まる学童クラブのニーズへの対応は、学校の教室を放課後も活用することが最も効果的。都は区市町村に対し、学校施設の活用に一層取組むよう働きかけるべき。見解を伺う。

A. 福祉局長答弁 学校と円滑に連携している事例の幅広い情報共有など、学校内への学童クラブ設置が進むよう、区市町村に働きかけていく。

Q

貴重な東京の生産緑地の保全を！



増山 相続等を機に農地が売却され宅地化されるなど、農地減少に歯止めがかからない中、生産緑地保全に向けた取組みを、より効果的に進めていくべき。見解を伺う。

A. 産業労働局長答弁 今後、地元自治体を通じた助成充実、農地所有者支援策のPR強化等を検討する。区市と連携し生産緑地保全を進めていく。



東京都議会議員 増山あすか 事務所

皆様の都政へのご意見・ご要望をお寄せ下さい。

〒183-0023 府中市宮町 2-1-15 府中パークホームズ 2F

TEL.042-366-0066 FAX.042-358-6062

office@asuka-masuyama.com